

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ともだちひろば にんな (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 19日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年 11月 19日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人に丁寧な対応ができていること	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中での獲得が難しいことに対応する。 ・2週間に1回ペースだからこそ見える変化を把握し、良いこともそうでないことも保護者へ伝えること。 ・人と比べず、自分のできることを積み重ねる中で自信をつけていくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップのための研修や研鑽 ・チームワークを高めながら真心込めて支援することを忘れないよう、理念や指針を確かめ合う機会を作る
2	保護者を巻き込んだ支援をしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に保護者とコミュニケーションをとり、困りごとなどに早く対応したり、保護者への助言をすること。 ・毎年利用者アンケートを実施し、希望や困っていることなどを把握、支援に役立てている 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会の企画・実行により、ペアレントトレーニングや交流を図る
3	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・開所当時より、保健師さん、園、学校、相談員、他事業所などと連絡を取り合うことに心がけてきた。 ・必要があれば直接の学校連携を行っている。 ・インフォーマルな地域の資源(習い事など)に繋ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報収集 ・移行のための連携

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後デイだけ勤務の職員が多く、コミュニケーションをとる時間が少ない	早めに勤務についてもらっても、常勤職員が指導に入っていて話をする時間がない。	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項については、現状通り会議録で確認してもらう。 ・その他の職場内連携は児発管が繋いでいく。
2	休みが入ると次の来所までにかかなり間が空いてしまう	体調不良や用事などでお休みが入るのは致し方ないところ。	休みが続いた時は、他の児童の休みなどの空き時間を利用して来てもらうよう声掛ける。
3	大きな行事をする余裕がない	指導員は、日々の勤務時間を支援と準備、記録と振り返り、会議などに使っていっぱい。管理する者も、支援計画に関わる仕事、職員への指導、利用者対応、外部会議への参加、行政への提出物対応、年間にこなさなければならないことの計画・管理など、しなければならぬことがたくさんありすぎて大きな行事に手がまわらない。	いずれ余裕ができた時に考える。